

科目名	現代社会		教科	公民	単位数	2
教材	①高等学校 改訂版 新現代社会(第一学習社) ②テーマ別資料 クロスアップ現代社会2018(第一学習社)			教材費 (予定定価)	①630円 ②896円	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	現代社会の基本的な問題についての理解を深めるとともに、人間としてのあり方・生き方について考えることを通して、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・資料集・ノート・授業プリントを用いて、教科書に沿った内容をより具体的に展開していく。 8人単位の小グループを作り、ディスカッション形式で教え合うことで、学習への意欲を高め、課題発見につなげていく。
評価方法	定期考査、授業への取組の様子を総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○キャリアデザイン科での学習について ・キャリアデザイン科とは ・社会人基礎力について	キャリアデザイン科での学びについて、社会人基礎力とは何かを理解し、社会人基礎力を身につけることが今の大きな課題であり、それがやがて自分の人生の糧となるようにすることを目標とする。
○現代社会と人間としてのあり方生き方 ・伝統や文化とのかかわり ・祭りと年中行事 ・社会とのかかわり	日本の伝統や文化と異文化との関係について考える。
○現代の民主政治と政治参加の意義 ・国会の運営と権限 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・地方自治と住民の福祉 ・選挙制度と現状の課題	昔から行われている祭りや年中行事にはどのような者があるのかを理解し、それらが私たちの日常生活にどのような影響を与えているかを考える。 議会制民主主義とはどのようなものを理解し、国権の最高機関である国会は、どのような権限をもっているかを考える。
○現代の経済社会と私たちの生活 ・経済と私たちの生活 ・経済体制の変容 ・現代の企業 ・市場のしくみ ・国民所得と私たちの生活 ・景気変動と物価の動き ・財政のしくみと税金	地方自治の意味と地方自治の発展のための課題は何かを考える。住民はどのようにして地方自治に参加できるかを理解する。 経済とは何かについて、市場経済と計画経済の違いについて考える。 市場が果たしている役割と独占・寡占について学ぶ。市場の失敗とはどういうことかを理解し、この失敗を補うための政府の役割について考える。 財政活動の目的を学び、租税についての理解を深める。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会の基本的な問題に積極的に関心をもち、よりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付けようとしている。グループ討論において積極的に意見を述べている。
思考・判断・表現	社会の変化や様々な立場・考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。グループの意見を的確に集約し、自分の言葉で発表できる。
技能	資料集を十分に活用し、正確に読み取り、学習や発表に役立てることができる。
知識・理解	教科書に沿った内容についての理解できる。単なる語句の暗記だけでなく、事柄についての内容や問題点を文章で述べるができる。

科目名	政治経済	教科	公民	単位数	2
教材	政治・経済(東京書籍)		教材費 (予定定価)	465円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	政治・経済をはじめ広く国際社会も出来事に関心をもっている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	わが国の政治・経済および国際社会の動きに関する基本的な知識を身に付け、それに対する自分の考えを持った上で、社会にどのようにかかわり、貢献していくかを考える。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・資料集・ノート・授業プリントを用いて、教科書に沿った内容をより具体的に展開していく。また、ディスカッション形式を取り入れることで、学習への意欲を高め、課題発見につなげていく。
評価方法	以下の各観点に基づき、各学期の定期考査、レポートの内容、ノートの提出状況、発表内容などから総合的に判断します。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
I. 現代の政治 民主政治 日本国憲法 日本の政治制度 現代日本の政治 II. 現代の経済 現代経済のしくみ 日本経済の発展と国民福祉の向上 III. 現代社会の諸課題 現代日本の諸課題 国際社会の諸課題	教科書、資料集を通じて基礎的な知識を得る。 自らの意見の発表を行う。 与えられた課題に関する意見レポートを作成する。 自ら選んだテーマについて、レポートを作成する。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究できる。
思考・判断・表現	現代の社会の課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。
技能	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	現代の社会的事象と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

科目名	時事問題	教科	公民	単位数	2
教材	ニュース検定時事力 公式テキスト&問題集 3. 4級			教材費 (予定定価)	1,296円

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
---	--------	------	---------	---------------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	現代社会の学習に興味があり、かつ、就職試験のための資格習得を真剣に考えている人。
選択のめやす	政治、経済をはじめ、広く国際社会の出来事に関心をもっていること。または、ニュース時事能力検定4級以上の取得に挑戦する意志を強くもつことが必要である。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	現代社会で起こっている様々な出来事について理解し、それらの事柄についての自分の考えをもつ力を身に付ける。さらには、これからの社会のあり方を考えるきっかけとする。ニュース時事能力検定4級以上の習得を目指す。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教材の2018年ニュース検定公式テキストに取り上げられたテーマを柱とし、関連性のある昨今のニュースや時事問題にふれ、現代社会の諸問題や良き社会の実現方法について考え、学ぶ。 テキストの練習問題に取り組み、重要用語や出来事を把握して理解する。
評価方法	学期ごとの定期考査、さらに授業ノートの提出状況、授業プリントの提出状況、活動の様子、発言内容等による積極的な授業参加態度等を総合的に評価する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
政治 ①憲法と政治の課題 ②「18歳選挙」と国会 ③日本と近隣の国々 ④地方自治のゆくえ ⑤主権者手引	テキストに取り上げられたテーマを柱とし、関連性を持つ現代社会の諸問題について考え、学ぶ。
経済 ①足踏みする日本経済 ②日本の産業と貿易 ③エネルギー問題のあす	学んだ内容について、自らの意見や感想をレポートに書き、発表する。
暮らし ①進む少子高齢化 ②曲がり角の社会保障 ③働く環境を考えよう。	練習問題や小テストに取り組み、時事問題の基本用語を理解し、知識を定着させる。
社会問題とあす ①大震災からの復興 ②差別のない社会へ ③裁判所の役割と国民	日常の新聞を読み、その出来事について、簡潔にまとめ、自分の意見や感想が言えるようにする。
社会問題と今 ①情報社会に生きる。 ②いのちを考える。 ③温暖化対策に新たな道	事件が起こった原因は何か。戦争の原因や傷はいかに残されるのかについて考える。
国際社会 ①揺れ動く世界 ②平和な世界は遠く。	ニュース時事能力検定4級、3級取得に挑戦する意欲を高くむ。
①2018年重大ニュース ②ニュースのこぼれ	
練習問題 正解と解説	☆ニュース検定は、6月、11月、2月に実施する予定です。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会で起こっている様々な出来事に興味・関心を持ち、その課題解決のためのあり方について考える姿勢をもっている。
思考・判断・表現	授業で取り上げた時事問題について、その事象や出来事を理解し、それに対して、いかに自らの意見を発表することができる。
技能	日常の新聞や雑誌の中から、時事問題となる教材を見つけ出し、それを簡潔にまとめて、いかに発表することができる。
知識・理解	学んだ内容を小テストや練習問題の形式で問い、それを整理して、いかに体系的に理解することができる。

科目名	社会一般	教科	公民	単位数	2
教材	改訂版 テスト式 就職社会			教材費 (予定定価)	536円

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	-------------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	専門学校や就職、または公務員を志望し、社会全般を広く学び、一般常識の知識を高めたいと思う人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	講義やプリントで社会問題を学習し、その問題点や課題を正確に捉え、身近な問題として考えることのできる力を付けていく。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	テキスト・プリントを使った講義形式で学習し、問題点や課題を捉え、その解決方法を探るために小グループによる討論形式の学習も取り入れる。 また、一般常識の実践問題にも取り組む。
評価方法	期末考査や活動の様子、提出物の状況、資料の活用状況などから総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
政治・法律	憲法の特徴、民主主義のあり方、国際政治について学ぶ。
経済	財政・金融政策の基本を知り、戦後の経済成長の理由を学ぶ。
社会・労働	社会保障制度の歴史と現状、労働運動の歴史を学ぶ。
日本史・世界史	日本の文化史・政治史、世界の歴史的大事件・革命を学ぶ。
総合問題	一般常識の総合的な問題に取り組み実践力をつける。
時事用語・国際用語略語	ニュース・新聞等によく使われている用語・略語について学ぶ。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代の社会の様々な問題に対して関心があるか、その問題に対して意欲的に課題を追究している。
思考・判断・表現	広い視野に立って多面的・多角的に物事を考え、社会の変化や様々な立場・考え方を踏まえ公正に判断できている。
技能	テキスト・プリント等の資料を通して情報を収集し、その情報の正しい活用の仕方を身に付けている。
知識・理解	現代社会の様々な問題に関する基本的な事柄を理解できているか。